図書館だより

高山市図書館報　第206号
発行：2025年9月　発行元：高山市図書館　指定管理者　株式会社図書館流通センター

高山あっちこっち

高山ゆかりの人物や場所などを取り上げ、歴史や逸話、資料などを紹介します。

No.73　写真で見る飛騨の暮らし　写真家・細江光洋

高山出身の写真家・細江光洋（ほそえ・こうよう）をご存じでしょうか？変わりゆく飛騨の風景やそこで生きる人々を撮り続けた彼の写真は、今では見ることのできない、かつての飛騨の文化や風習を伝える貴重な記録でもあります。

◆細江光洋（本名：綱一）は、大正9年（1920）、高山市上二之町に生まれました。旧制大垣中学校在学中に胸を患い、進学を断念して高山に戻ります。地元の金融機関に勤めるなか、六桜社（現コニカミノルタ）の「パーレット」というカメラを手に入れたのをきっかけに、趣味として写真を撮り始めました。

当時、光洋の父親は飛騨日日新聞社の写真部で働いており、光洋はやがて勤めを辞め、父の助手として写真の道に進みます。その後、富山新聞高山支局に入社し、昭和22年（1947）4月に起きた高山別院の全焼など、数々の出来事を記者として取材しました。

戦後に創刊されたカメラ雑誌『ポピュラー・フォトグラフィ』では、「朝の祈り」という作品が推選となりましたが、その後なかなか入選には至りませんでした。写真の原点から学び直そうと思った光洋は書物を買い集め、独学で腕を磨いていきました。一年半を経て、朝日新聞社主催の国際サロンを皮切りに入選・入賞を重ねます。昭和28年（1953）には富山新聞社を退職、写真館を営みながら飛騨の風景や人々の姿を撮り続けました。光洋の写真は高山市が作成した観光パンフレットにも使われました。

病弱な体でありながらも情熱をもって撮影を続けた彼の作品の数々は、写真集として多く出版されています。

◆代表的な作品集『細江光洋写真全集』（全3巻）のほかに、光洋の活動を知ることができる写真集を3冊ご紹介します。

『北アルプス乗鞍岳』

標高3000メートルを超える乗鞍岳の雄大な姿を、登山バスの運行が開始された当時から撮り続けた写真集です。砂ぼこりをあげて走る登山バス、ライチョウのひなと母鳥、登山客でにぎわう山荘、そして麓の村と人々の暮らし。モノクロ写真が映し出した往時の乗鞍を見ることができます。

『世界遺産白川郷』

半世紀にわたって撮り続けた白川郷の写真をまとめた写真集です。昭和20年代からの白川郷の風景、農作業や祭りといった生活の様子がわかる写真が豊富に掲載されています。今はなくなってしまった加須良集落や合掌造りの解体といった貴重な写真もあります。観光地化される以前の白川郷の賑わいが聞こえてきそうです。

『写真集　雪国』

河合村の開村123年を記念して出版された写真集です。今も続く山中和紙作りの写真を多数収録。雪が降り積もった山中から手橇（てぞり）により材木を伐り出す作業など、昭和30年から40年頃を中心に、雪と共に生きる河合村の人々の暮らしを表情豊かに写しています。

参考資料

『細江光洋写真全集　第1巻　山国飛驒に生きる』細江　光洋／著　郷土出版社　1993年　748ホ1
『細江光洋写真全集　第2巻　街かど人間模様』細江　光洋／著　郷土出版社　1994年　748ホ2
『細江光洋写真全集　第3巻　飛驒びとの祭り』細江　光洋／著　郷土出版社　1994年　748ホ3
『北アルプス乗鞍岳』細江　光洋／写真　丹生川村　1995年　748ホ
『世界遺産白川郷』細江　光洋／編著　郷土出版社　1996年　748ホ
『写真集　雪国』細江　光洋／写真　吉城郡河合村　1998年　748ホ
『飛驒の國』細江　光洋／撮影　岐阜新聞社　2020年　291.53ホ
『飛驒・高山』岩波書店編集部／編集　岩波映画製作所、細江　光洋／写真　岩波書店　1956年　291.53イ
『飛驒』荒垣　秀雄／文　細江　光洋／写真　朝日新聞社　1964年　382.1ア

イベント案内

日程や内容は変更される場合があります。
くわしい内容は館内設置のチラシやポスター、図書館ホームページ、各種SNSなどでお知らせしておりますのでそちらをごらんください。

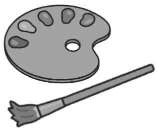
みんなの健康シリーズ　第5回
人工関節手術の進歩

【テーマ】「変形性関節症」
講師：齊藤　満 氏
（高山赤十字病院　第二整形外科　部長）

【日時】9月17日（水）　午後7時～8時
【場所】煥章館1階　生涯学習ホール
【定員】40名　※申込先着順、参加無料
【申込方法】直接来館、電話
【受付期間】受付中　※定員に達し次第締め切り

第6回　上映会
上映作品：『 100年インタビュー　やなせたかし 』

（2012年　日本　90分）
やなせ　たかし／出演



【日時】9月13日（土）
午前の部　午前10時～上映終了まで
午後の部　午後　2時～上映終了まで
※同じ作品を2回上映
【場所】煥章館1階　生涯学習ホール
【定員】各回50名　※参加無料

申込不要
当日先着順
20分前
開場

芥川賞候補作家
駒田隼也さん　トークイベント

現代文学の最前線で活躍する芥川賞候補作家・駒田隼也さんをお招きし、トークイベントを開催します。住職書房店主が聞き手となり、創作の舞台裏や物語が生まれる瞬間といった、ここでしか聞けない貴重な話をうかがいます。

【日時】9月27日（土）　午後2時～3時
※終了後にサイン会・書籍販売あり
【場所】煥章館1階　ロビー　オープンスペース

【定員】事前予約席30席　※申込先着順、参加無料
※予約なしでも参加可（立ち見になる場合あり）
【申込方法】煥章館に直接来館、電話
【受付期間】受付中
※予約席は定員に達し次第締め切り
【共催・詳細問い合わせ先】

住職書房
TEL：090-6751-5676
Instagram：@jyusyokusyobo

本のソムリエ

9月21日は「認知症の日」（世界アルツハイマーデー）です。
認知症への理解を読書で深めてみませんか？

『 おばあちゃんのあかね色 』

楠　章子／作
あわい／絵
佼成出版社
2024年
913.6ク

大好きなおばあちゃんが認知症になってしまい、主人公は戸惑ってしまいますが、共通の趣味だった「おしゃれ」を通してお互いが笑顔になっていき、温かい気持ちになります。認知症を考えるきっかけにもなる児童書です。

『 令和元年　母がボケました。 』

横田　たかこ／著
repicbook
2023年
916ヨ

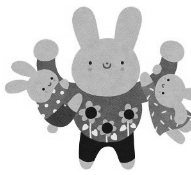
認知症と診断された80代の母と娘2人の日常が漫画で描かれている介護奮闘記です。現実は大変なことも多い日々の介護を、ちょっとした笑いに変えてくれます。疲れた心に寄り添い、心穏やかで前向きになれる1冊です。

※掲載されている表紙画像はすべて掲載許可取得済みです。

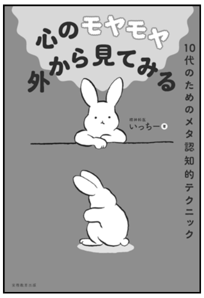
new!

新着資料案内

心のバランスを保つヒント集

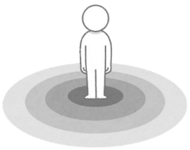


夏のにぎわいが落ち着き、少し物思いにふけるこの季節は、大人も子どもも気持ちが不安定になりがちです。そんな季節の変わり目の揺らぐ心に寄り添い、安心感を与えてくれる本を紹介します。1冊の本が、あなたや大切な人の心の支えになり、穏やかな秋の時間を過ごす助けになりますように。



『 心のモヤモヤ 外から見てみる 』

精神科医いっちー／著
実務教育出版
2025年
146.8イ



人間関係のモヤモヤ、自分に対するガッカリ感、未来への不安…。しんどい思考ループから脱出するには？1万件の悩みを解決してきた精神科医が、視点を変えてしなやかなメンタルを身につける方法を紹介する。

『 12歳から始める 気にしない技術 』

堀田 秀吾／著
秀和システム
2025年
159.7ホ

自己主張できる、他人に流されない、集団生活も余裕…。ひとりでも強く生きていけるように、12歳から始めてみよう！「人の目」が気にならなくなる方法を、世界中のいろいろな研究を紹介しながら、わかりやすく伝えます。

『 Z世代 コミュニケーション大全 』

松下 東子、梅畑 友理菜／著
東洋経済新報社
2025年
336.4マ

おたがいに悪意はないのに、すれ違う…。Z世代とのコミュニケーションを豊富なデータやヒアリングをもとに「見える化」し、どうすれば円滑なコミュニケーションが取れるかを具体的に伝える。

『 学校に行かなかった僕が、 あのころの自分に 今なら言えること 』

石井 しこう／著
大和書房
2025年
371.4イ

学校のこと、家族のこと、勉強のこと、進路のこと…。不登校者のホンネを知る著者が、不登校をした人やその保護者などへの取材を通して見つけた、今悩んでいる人へのメッセージを綴る。

タイトル	著者	出版社	出版年	請求記号
プロカウンセラーの賢く怒る技術	杉原 保史／著	創元社	2025年	141.6ス
若者はLINEに「。」をつけない	高橋 暁子／著	講談社	2025年	336.4タ
いつの間にか仲良くなっている人たちの世界	野口 敏／著	東洋経済新報社	2025年	361.4ノ
親から始まるひきこもり回復	桝田 智彦／著	ハート出版	2025年	367.6マ
ねころんで読めるけどねころんじゃいけない不眠症	古川 由己／著	メディカ出版	2025年	493.7フ
いますぐできる！接客・サービス業のためのアンガーマネジメント	安藤 俊介／著	PHP研究所	2025年	673.3ア

※掲載されている表紙画像はすべて掲載許可済みです。 ※紹介文はTRC MARCより。

2025年 9月

日	月	火	水	木	金	土
	1 ♻	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14 ★	15 敬老の日	16	17	18	19	20
21	22	23 秋分の日	24	25	26	27
28	29	30 休館日				

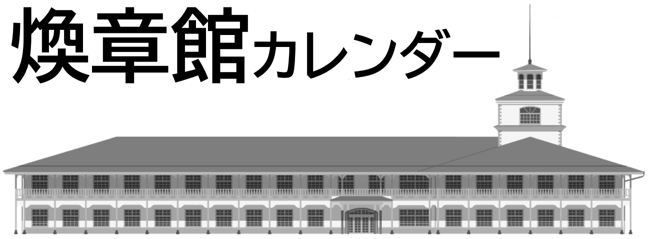
2025年 10月

日	月	火	水	木	金	土
			1 ♻	2 ♻	3 ♻	4
5	6	7	8	9 ☆ 高山祭	10 ★ 高山祭	11 ★
12 ★	13 スポーツの日	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31 休館日	

☆…駐車場特定日（終日有料）　♻…本のリサイクル

★…駐車場特定日（夕方5時前は有料）

煥章館カレンダー



※左記日程に変更がある場合、ホームページ・館内チラシ・ポスターなどでお知らせします。

休館日について

本の返却

正面玄関を入って右側の返却ポストをご利用ください。

※ただしCDやDVDなどの視聴覚資料および相互貸借資料（高山市以外の図書館から借り受けた資料）は開館中に館内カウンターでご返却ください。

受付できないこと

×お電話での貸出期間延長や、本の所蔵調査

×市営空町駐車場の2時間無料処理

市営空町駐車場の駐車場特定日について

下記の日程は駐車場特定日のため、夕方5時前に入庫した車両については、駐車料金の2時間無料化ができません。

※夕方5時以降に入庫した車両のみ、2時間分の無料化を行います。

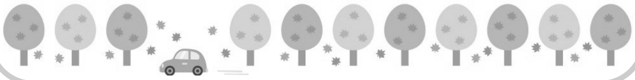
9月14日（日）

<秋の高山祭>

10月9日（木）、10日（金）

※9日（木）は宵祭のため、終日無料化できません。

10月11日（土）、12日（日）



編集後記

●10/19（日）「タカヤマブックマーケット」出店者を募集中です。詳細は図書館HP、SNSなどをチェック！

●駒田隼也さんは『鳥の夢の場合』がデビュー作で芥川賞候補という、今後が期待される作家さんです。

●高山祭、春は行ったことがありますが秋はありません。今年は行ってみたいです。

高山市図書館

指定管理者　株式会社図書館流通センター　〒112－8632　東京都文京区大塚3丁目1番1号　電話　03（3943）2221

貸出点数　1人につき10点まで　**貸出期間**　2週間　**開館時間**　午前9時30分～午後9時30分

休館日　月末図書整理日（土日祝にあたる時はその前日）、特別整理日、年末年始（12月31日～1月3日）

煥章館

〒506－0838
高山市馬場町2丁目115番地
電話　0577（32）3096
メール　library@library.takayama.gifu.jp
駐車場　市営空町駐車場をご利用下さい。
※2時間まで無料です。駐車券を受付にお持ち下さい。
アクセス　JR高山駅より徒歩15分
中心市街地バス「まちなみバス」「煥章館」下車
ホームページ
https://www.library.takayama.gifu.jp　図書館HPに簡単アクセス！

分館

丹生川分館	0577（78）1111	朝日分館	0577（55）3311
清見分館	0577（68）2211	高根分館	0577（59）2211
荘川分館	05769（2）2211	国府分館	0577（72）3111
一之宮分館	0577（53）0035	上宝分館	0578（86）2111
久々野分館	0577（52）3112		

X	@TakayamaCityLib	Instagram	@takayamacitylib
Facebook	TakayamaCityLib	YouTube	高山市図書館チャンネル